

梅まつり

水戸市・偕楽園

keisuke。

第118回 水戸の梅まつり

平成26年 2月20日～3月31日まで
茨城県水戸市の偕楽園と弘道館公園で開催中の

第118回 「水戸の梅まつり」

キャッチフレーズ 「さあ、満開の水戸へ」

3月16日、偕楽園を訪れた際の写真です。

東門周辺には普段は無い屋台がたくさん出て賑やか。
まだ準備中のようにですが、お祭り気分は盛り上がります^^



まだ早朝、人出は少なめですが
数時間後、この門周辺は大勢の来園者で ごった返すことになります ^^;



偕楽園を訪れたら必ず写真を撮り
深呼吸をする お気に入りの場所

広大な梅園



偕楽園、千波公園などを合わせた面積は300ヘクタール
都市公園としては、ニューヨークのセントラルパークに次いで、世界第2位の広さです。

この場所での深呼吸。気持ちいいですよ～
偕楽園を訪れの際には、是非お試しください。。



鳥も気持ちよさそう。。





この日は風もなく麗らかな陽気

冬に訪れた際にはクッキリ見えた水戸市街地も
スーッと 霞の帯を引いたよう

眼下にひろがる千波湖の湖面は早朝の陽を受けてキラキラ輝いていました。

名前の由来は、晋（しん）の武帝の故事

「文を好めば則ち梅開き、学を廃すれば則ち梅開かず」により、
梅の異名を「好文木（こうぶんぼく）」といったことから命名されたといわれています。



内部の様子を御覧になりたい方は、2012年にUPしたアルバム
「私を水戸に連れてって 偕楽園」を御覧下さい。

<http://p.booklog.jp/book/59482>

偕楽園へのアクセス マップ、園内の梅マップ・散策マップの他
偕楽園となりの「常盤神社」の写真もごさいます。

しばらくの間、無粋なコメントなどは無しに梅の花を御覧ください（笑）









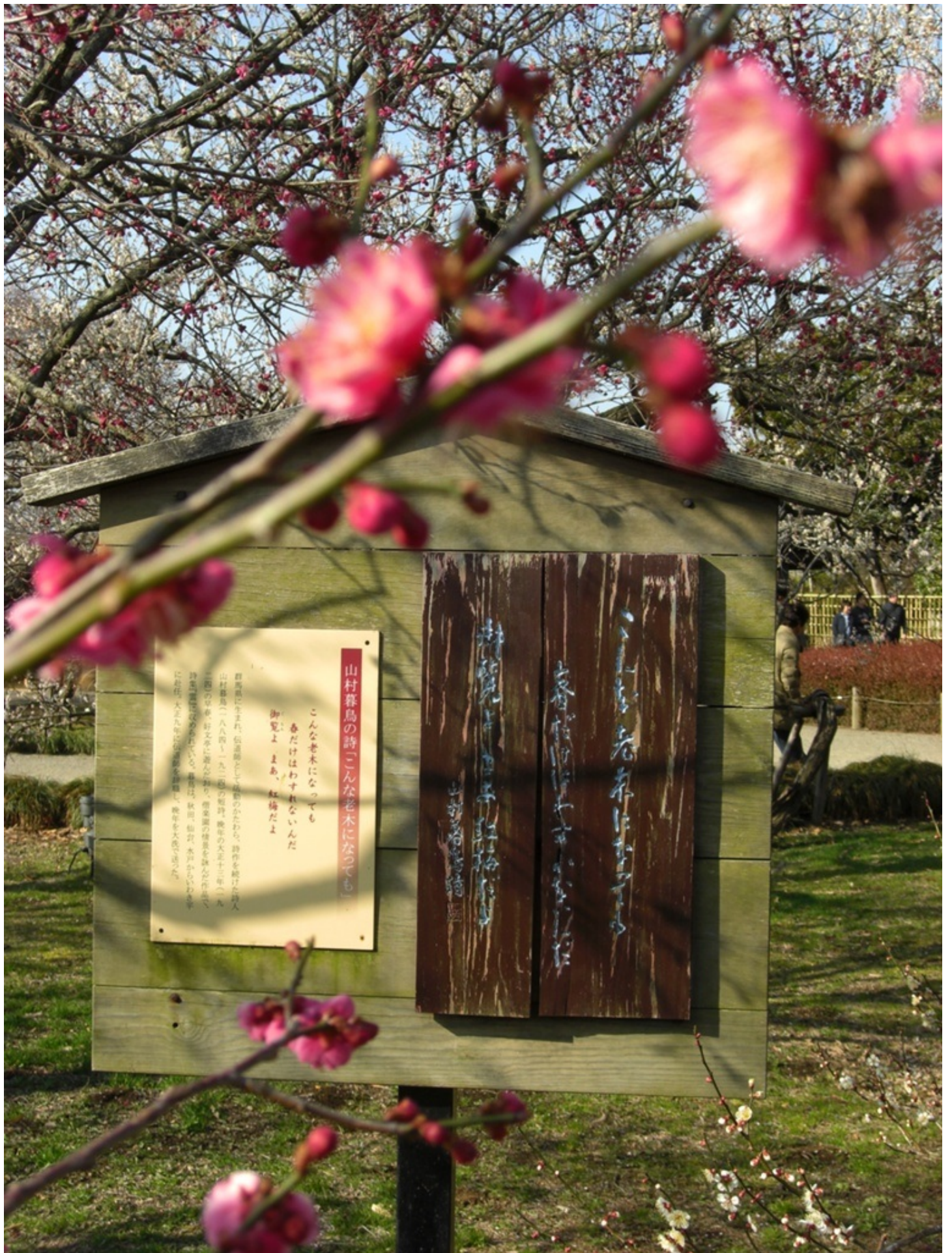




こんな老木になっても 春だけはわすれてないんだ 御覽よまあ、紅梅だよ







山村暮鳥の詩「こんな老木になつても」

こんな老木になつても
春だけはわすれないんだ
御覽よ まあ、紅梅だよ

山村暮鳥に生まれ、伝説として伝説の女とわら、詩作を結んだ詩人
山村暮鳥（一八八四—一九二〇）の短詩「晩年の大正十三年（一九一
四）の春の文庫に集むる」とあり、梅並みの情景を詠んだ作は、
詩人暮鳥のあまのいづる、暮鳥は、秋田、仙台、水戸からいわき平
に赴任、大正九年に仙台を離れ、晩年を大宮で送った。

山村暮鳥の詩「こんな老木になつても」
春だけはわすれないんだ
御覽よ まあ、紅梅だよ



梅一輪一輪ほどの暖かさ 服部嵐雪







東風吹かばにほひおこせよ梅の花 主なしとて春な忘れそ 菅原道真





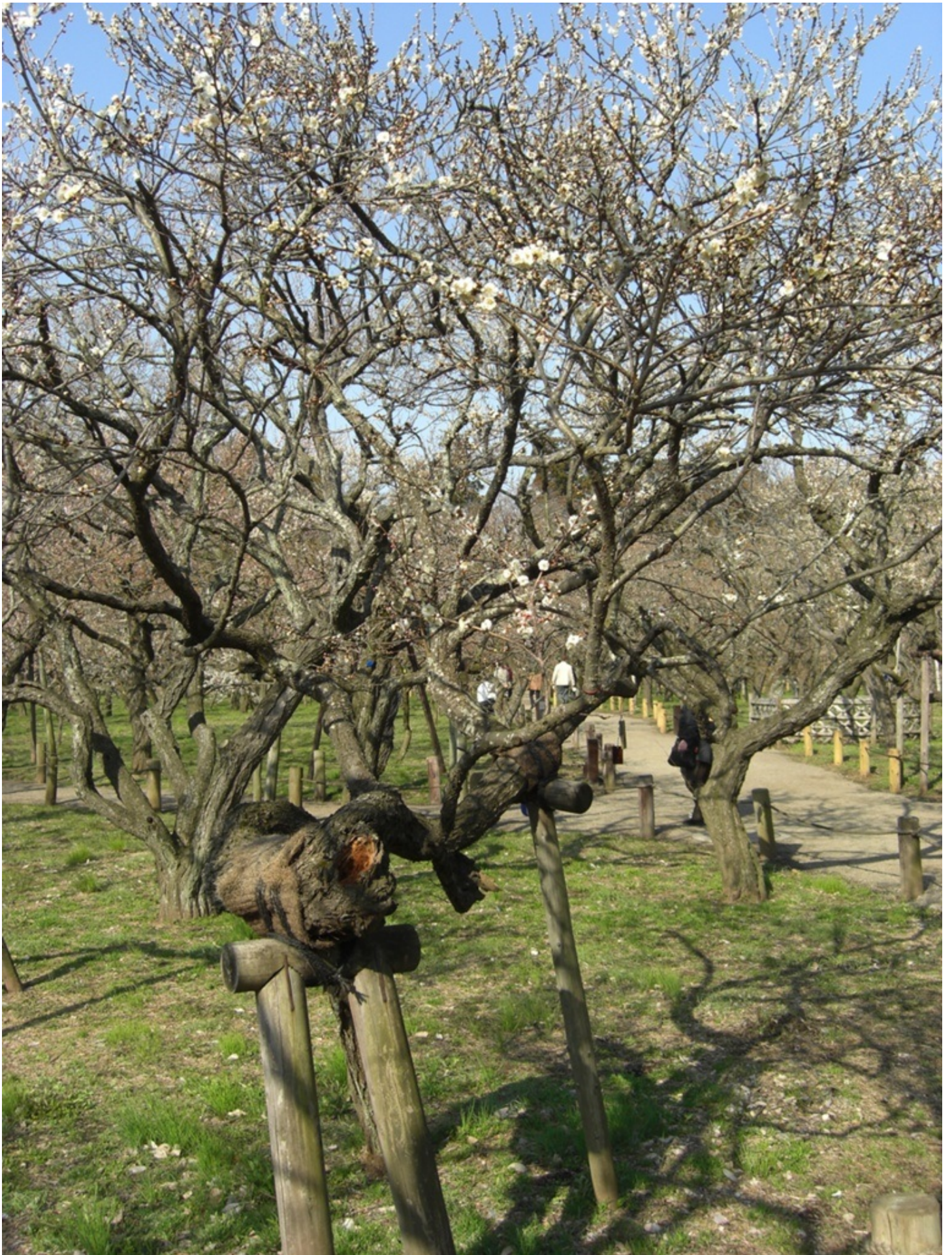
梅の古木は、どうしてねじれているのでしょうか？
樹皮だけで生きている木もあり、生命力を感じます。



古木はみんな幹や枝を支えられています。











これからも長生きしてね。



人はいさ心も知らずふるさとは花ぞ昔の香ににほひける 紀貫之







君ならで誰にか見せむわが宿の軒端にほ心梅の初花 源実朝









更新を急がないと桜の季節になってしまう～。 (笑)

この辺で、チョット一息。。
当日は弁当や土産物など、沢山の店が出て大変賑やかでした。



この他にも東門の外には屋台がズラリ!!

水戸名物と言えば、もちろん「納豆」



いらっしゃい。いらっしゃい。
おじさん、身をのり出して気合が入っています。



梅は観るだけでなく、販売もしています。



こちらは、大子町特産「奥久慈茶」

キャッチフレーズは「うまっぺ 奥久慈茶」

試飲できます ^^ いい香りでした。。





水戸市森林公園内の [チーズ工房・森のシェーブル館](#)

訪れた際の写真をこちらのPuboo (パブー) に

「[水戸市森林公園 恐竜とソフトクリーム](#)」として公開しています。

店内の様子やメニューも御覧いただけます～

こちらからどうぞ

<http://p.booklog.jp/book/79772>

そして現在公開中の全アルバムは

こちら

<http://p.booklog.jp/users/keisukedayo>



おすすめです！

わたしの大好きな
水戸市森林公園
森のシェパル館の
レアチーズタルトです

森林公園には
ヤギさんやウサギさん
そして恐竜さんもいるのよ
みんなであそびに来てね！

1,300
円 / 6個箱入 ~~1,320~~円

新発売 森のシェパル館 特製
水戸産梅ジャムを贅沢に使用した。

レアチーズタルト



7レーン3個・梅タルト3個

1箱 ~~1,470~~ **1,450**円(税込)

もちろん試食しました～ ^^

小さなスプーンにほんのチョットですが、ごちそう様でした。



再び、梅園。

もう少し梅園を散策して南崖方面に向かいます。



枝垂れ梅







写真じゃ、香りをお届け出来ないのが、残念!!









こんな品種もあるんですね



てつけんばい? というそうです。















花たちが微笑んでいるよう



「見晴広場」では野点、黄門様との撮影会、他
様々なイベントが催され、長蛇の列ができていました。









南崖下の道を通り、西門手前の庭園に向かいます。











南崖の南、常磐線と道路の向こうには
「田鶴鳴梅林」「狸々梅林」などの広大な梅林がひろがっています。











折りつれば袖こそほへ梅の花 ありとやここに鶯の鳴く 詠み人知らず









「崖急に 梅ことごとく 斜めなり」

明治22年、偕楽園を訪れた正岡子規が詠んだ句です。

正岡子規の句碑

「崖急に 梅ことごとく 斜めなり」

この句は、明治時代の代表的な俳人である正岡子規が、明治二十二年（一八八九年）四月五日に偕楽園を訪れた際、好文亭から見た南崖の梅の印象を後年詠んだものです。

「急な勾配の崖（かけ）のところにも、その地形に合わせ、てどの梅の朶も斜めになって立ち、しかし懸命に花を咲かせている」

写生句ではあるが、人生にも通じるものを感じさせる名句といわれています。



やど近く梅の花うゑじあぢきなく まつ人の香にあやまたれけり 詠み人知らず















梅の花立ちよるばかりありしより 人のとがむる香にぞしみぬる 詠み人知らず





庭園の一角では、「笠間焼」の陶器市が出ていました。

関東取古の陶器

茨城県

笠間焼は江戸時代安永年間
に滋賀県信楽（しがらき）より
伝わりました。長い間、厨房用
粗陶器類（かめ、すり鉢等）を
生産していましたが、近年は
東京 300 軒を有する工芸陶器の
産地として注目されています。

1,260円
1,000円



湯のみ

1,575円



江戸時代中期の安永年間から茨城県笠間市とその周辺で作り始められた陶器で
現在では300人に近い陶芸作家や窯元のいる窯業産地となっています。
関東地方では、益子と並び大きな窯業産地として知られています。

器や湯飲みの他に、このような物まで ^^



3月が誕生日だった娘婿、色違いのペアマグカップを御土産に購入しました。



「梅まつり」の御案内は、ここで終了です。



今年も
おすすめ金魚

工場の新鮮な
金魚
1cm 200円
3cm 500円

ペットボトルに
入れやすいのは
金魚(小)です

東門へ戻り、駐車場がある千波湖へ向かいます。

この先は「番外編」です ^^



開店準備中だった屋台もオープン。
東門周辺は大変な賑わいでした。



いつもは だ～れも居ない この辺りも ^^;



そして千波湖から東門に繋がる通路を続々と押し寄せる人の波!!
団体、カップル、家族連れ。
人混みなのに険しい顔をした方がひとりもないのがいいですね。

警備の方も緊張感無く（笑）なんとなくお祭り気分・・・・・・・・



団体が次から次へとやって来ます。



偕楽園臨時駅

「梅まつり」の期間だけ開かれる臨時駅です。
千波湖から偕楽園に繋がる偕楽橋の上からの眺め。



梅まつり期間中は増便されているのか?

次々と発着する「スーパーひたち」



湖周辺にも沢山の屋台が



実はこの日、毎月数回、長年にわたり通い続けた「水戸行き」最後の日でした。

200回余り通いながら一度も見ることがなかった「梅まつり」
最後の一日。 念願叶って、最高の天気を訪れることが出来ました。

もう水戸を訪れることも、それほど多くは無いことでしょう



千波湖畔の食事処「好文茶屋」

<http://www.mitokoumon.com/sightseeing/koubuntyaya.html>





梅ソフトクリーム



ありがとう 水戸

ソフトクリームではございますが、**水戸にカンパ〜イ!!** (*^▽^*)ノ



当日は写真と共に映像も撮りました。

編集し、YouTube にアップロードしましたので、是非御覧になってみて下さい ^^;

偕楽園 梅まつり 其の一

<https://www.youtube.com/watch?v=kqhuRAGpijY>

偕楽園 梅まつり 其の二

<https://www.youtube.com/watch?v=qbUjlvysErs>

続編も製作予定ですが、完成時期は、未定です。 ^^; >

ありがとうございました。

以上でアルバム **梅まつり** **水戸市 偕楽園** 終了です。

最後まで御覧いただき ありがとうございます。

なんとか梅まつり開催期間中に間に合いました ^^;

2014年の梅まつりは、もうすぐ幕を閉じます。

来年、「119回 水戸の梅まつり」を訪れようと思っている方々へ

来園は、電車を利用するのがベストです。

あくまでも3月16日、快晴の日曜日での状況で、

曜日、天候、花の咲き具合により一概には申せませんが、

マイカーを御利用の場合、午前8時以降 車は止められない。とお考え下さい。

各駐車場は満車で長蛇の列が来ています。

市街地のパーキングを利用し、長時間歩いた方が早い。と想われるほどの渋滞です!!

御参考までに

梅まつり

水戸市 偕楽園

<http://p.booklog.jp/book/83802>



著者 : keisuke。

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/keisukedayo/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/83802>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/83802>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社ブクログ